

埼玉大学教育研究活動基本データベースシステム（SUCRA）の運用方針（暫定）

平成 21 年 3 月 25 日
総合情報基盤機構会議了承
改正 平成 23. 2. 18

（方針）

- 1 埼玉大学教育研究活動基本データベースシステム（SUCRA）（以下「本システム」という。）の運用については、国立大学法人埼玉大学の保有する個人情報の保護に関する規則（平成 18 年 6 月 8 日規則第 106 号）と国立大学法人埼玉大学の保有する個人情報の保護に関する細則（平成 18 年 6 月 8 日規則第 107 号）の遵守の下に、当分の間この定めによるものとする。

（審議機関）

- 2 本システムの運用について必要な事項は、総合情報基盤機構図書館会議（以下「図書館会議」という。）で審議し、総合情報基盤機構会議（以下「機構会議」という。）で決定する。

（登録者）

- 3 本システムに登録できる者は、以下のとおりとする。
 - （1）本学の役員
 - （2）本学の教員等
 - （3）本学に役員・教員等として在籍していた者で、在籍していた部局等の長が特に認めた者
 - （4）その他、部局等の長が特に認めた者（例えば、非常勤教員、特任教員、大学院生等）

（マスタ管理）

- 4 本システムのデータファイルは、各登録者が自身で更新するものとし、サーバ内に保管するデータファイルをマスタとする。

（サーバ管理者）

- 5 サーバの管理者は図書館長とする。

（学術研究成果の範囲）

- 6 本システムに登録する学術研究成果の範囲（種別・定義）については、各部局で決定する。

（本システムのデータ項目の範囲）

- 7 本システムのデータ項目の範囲は、図書館会議の議を経て機構会議で決定する。

(サービスの範囲)

8 登録者の完全コントロール下で行われる本システムのサービスの範囲は、以下のとおりとする。

(1) 研究者総覧

(2) R e a D調査

(3) 教員活動報告書へのデータ提供

(監査)

9 本システムに関する個人情報保護やシステムの適法・適正運用に関しては、監事監査や監査法人による監査を受ける。

(適用)

10 この取扱いは、平成21年3月23日から適用する。